

校種・教科等	中学校・音楽	受審番号		氏名	
--------	--------	------	--	----	--

『中学校・音楽科』 模擬授業課題

- (1) 日 時 令和6年4月22日 第2校時(50分)
- (2) 場 所 音楽室
- (3) 学年・学級 第3学年1組(30名) 使用教科書 音楽のおくりもの2・3下(教育出版下P12～18、49)

(4) 題 材 名 曲想を感じ取り、曲にふさわしい歌唱表現を工夫しよう

(5) 指導する児童(生徒)の状況

【既習事項】

第2学年では「浜辺の歌」の学習を通して旋律のまとまりについて考え、表現を工夫することについて学習した。その際、二部形式の構成について理解し、旋律のまとまりを生かして音楽表現を工夫することを経験している。

【題材のねらい】

曲想と歌詞との関わりを理解し、曲にふさわしい音楽表現の工夫を考えながら歌唱する。

【生徒の状況】

- ・音楽への興味・関心が高く意欲的に取り組む生徒が多い。
- ・楽譜について、音符や休符、音楽用語などある程度理解できている生徒と、苦手意識があり、読みとりが困難な生徒が混在している。
- ・各自のタブレット端末には、パートの旋律や伴奏の音源が入っていて使える状況にある。

(6) 指導計画(全8時間)

次 (時数)	学習内容	活動・ 指導形態	評価計画
第1時	・本時の学習内容を理解する。 ・「花」の歌詞について意味を知り、2つの旋律について音取りをする。 ・全員で二部合唱する。	一斉 パート	
第2時	・「花」の言葉のリズムと旋律の関係について考える。 ・考えたことを歌い確かめながら、表現の工夫をする。	個人 グループ	思考・判断・表現
第3時	・「花」について曲想と音楽の構造(強弱など)や歌詞との関わりを考える。 ・考えたことを歌い確かめながら、表現の工夫をする。	個人 グループ	思考・判断・表現
第4時	・本時の学習内容を理解する。 ・「荒城の月」の歌詞について意味を知り、旋律について音取りをする。 ・全員で斉唱する。	一斉 パート	
第5時	・「荒城の月」の歌詞によるリズムと旋律のまとまりについて考える。 ・考えたことを歌い確かめながら、表現の工夫をする。	個人 グループ	思考・判断・表現
第6時	・本時の学習内容を理解する。 ・「椰子の実」の歌詞について意味を知り、旋律について音取りをする。 ・全員で斉唱する。	一斉 パート	
第7時	・「椰子の実」の歌詞によるリズムと旋律のまとまりについて考える。 ・考えたことを歌い確かめながら、表現の工夫をする。	個人 グループ	思考・判断・表現
第8時	・3曲の日本歌曲の学習を通してわかったことについてまとめる。 ・1曲を選び、曲にふさわしい表現を工夫しながら歌唱する。なお、個人のタブレット端末に録音する。	個人	知識・技能 主体的に学習に取り組む態度

●面接終了後、メモ用紙とともにクリアファイルに入れて提出してください。

『中学校・音楽科』 模擬授業課題

(1) 日 時 令和6年4月22日 第2校時(50分)

(2) 場 所 音楽室

(3) 学年・学級 第3学年1組(30名) 使用教科書 音楽のおくりもの2・3下(教育出版下P12～18、49)

(4) 題 材 名 曲想を感じ取り、曲にふさわしい歌唱表現を工夫しよう

(5) 指導する児童(生徒)の状況

【既習事項】

第2学年では「浜辺の歌」の学習を通して旋律のまとまりについて考え、表現を工夫することについて学習した。その際、二部形式の構成について理解し、旋律のまとまりを生かして音楽表現を工夫することを経験している。

【題材のねらい】

曲想と歌詞との関わりを理解し、曲にふさわしい音楽表現の工夫を考えながら歌唱する。

【生徒の状況】

- ・音楽への興味・関心が高く意欲的に取り組む生徒が多い。
- ・楽譜について、音符や休符、音楽用語などある程度理解できている生徒と、苦手意識があり、読みとりが困難な生徒が混在している。
- ・各自のタブレット端末には、パートの旋律や伴奏の音源が入っていて使える状況にある。

(6) 指導計画(全8時間)

次 (時数)	学習内容	活動・ 指導形態	評価計画
第1時	・本時の学習内容を理解する。 ・「花」の歌詞について意味を知り、2つの旋律について音取りをする。 ・全員で二部合唱する。	一斉 パート	
第2時	・「花」の言葉のリズムと旋律の関係について考える。 ・考えたことを歌い確かめながら、表現の工夫をする。	個人 グループ	思考・判断・表現
第3時	・「花」について曲想と音楽の構造(強弱など)や歌詞との関わりを考える。 ・考えたことを歌い確かめながら、表現の工夫をする。	個人 グループ	思考・判断・表現
第4時	・本時の学習内容を理解する。 ・「荒城の月」の歌詞について意味を知り、旋律について音取りをする。 ・全員で斉唱する。	一斉 パート	
第5時	・「荒城の月」の歌詞によるリズムと旋律のまとまりについて考える。 ・考えたことを歌い確かめながら、表現の工夫をする。	個人 グループ	思考・判断・表現
第6時	・本時の学習内容を理解する。 ・「椰子の実」の歌詞について意味を知り、旋律について音取りをする。 ・全員で斉唱する。	一斉 パート	
第7時	・「椰子の実」の歌詞によるリズムと旋律のまとまりについて考える。 ・考えたことを歌い確かめながら、表現の工夫をする。	個人 グループ	思考・判断・表現
第8時	・3曲の日本歌曲の学習を通してわかったことについてまとめる。 ・1曲を選び、曲にふさわしい表現を工夫しながら歌唱する。なお、個人のタブレット端末に録音する。	個人	知識・技能 主体的に学習に取り組む態度

●面接終了後、メモ用紙とともにクリアファイルに入れて提出してください。

校種・教科等	中学校・音楽	受審番号		氏名	
--------	--------	------	--	----	--

『中学校・音楽科』 模擬授業課題

- (1) 日時 令和6年4月22日 第2校時(50分)
- (2) 場所 音楽室
- (3) 学年・学級 第3学年1組(30名) 使用教科書 音楽のおくりもの2・3下(教育出版下P12～18、49)

(4) 題材名 曲想を感じ取り、曲にふさわしい歌唱表現を工夫しよう

(5) 指導する児童(生徒)の状況

【既習事項】

第2学年では「浜辺の歌」の学習を通して旋律のまとまりについて考え、表現を工夫することについて学習した。その際、二部形式の構成について理解し、旋律のまとまりを生かして音楽表現を工夫することを経験している。

【題材のねらい】

曲想と歌詞との関わりを理解し、曲にふさわしい音楽表現の工夫を考えながら歌唱する。

【生徒の状況】

- ・音楽への興味・関心が高く意欲的に取り組む生徒が多い。
- ・楽譜について、音符や休符、音楽用語などある程度理解できている生徒と、苦手意識があり、読みとりが困難な生徒が混在している。
- ・各自のタブレット端末には、パートの旋律や伴奏の音源が入っていて使える状況にある。

(6) 指導計画(全8時間)

次 (時数)	学習内容	活動・ 指導形態	評価計画
第1時	・本時の学習内容を理解する。 ・「花」の歌詞について意味を知り、2つの旋律について音取りをする。 ・全員で二部合唱する。	一斉 パート	
第2時	・「花」の言葉のリズムと旋律の関係について考える。 ・考えたことを歌い確かめながら、表現の工夫をする。	個人 グループ	思考・判断・表現
第3時	・「花」について曲想と音楽の構造(強弱など)や歌詞との関わりを考える。 ・考えたことを歌い確かめながら、表現の工夫をする。	個人 グループ	思考・判断・表現
第4時	・本時の学習内容を理解する。 ・「荒城の月」の歌詞について意味を知り、旋律について音取りをする。 ・全員で斉唱する。	一斉 パート	
第5時	・「荒城の月」の歌詞によるリズムと旋律のまとまりについて考える。 ・考えたことを歌い確かめながら、表現の工夫をする。	個人 グループ	思考・判断・表現
第6時	・本時の学習内容を理解する。 ・「椰子の実」の歌詞について意味を知り、旋律について音取りをする。 ・全員で斉唱する。	一斉 パート	
第7時	・「椰子の実」の歌詞によるリズムと旋律のまとまりについて考える。 ・考えたことを歌い確かめながら、表現の工夫をする。	個人 グループ	思考・判断・表現
第8時	・3曲の日本歌曲の学習を通してわかったことについてまとめる。 ・1曲を選び、曲にふさわしい表現を工夫しながら歌唱する。なお、個人のタブレット端末に録音する。	個人	知識・技能 主体的に学習に取り組む態度

●面接終了後、メモ用紙とともにクリアファイルに入れて提出してください。